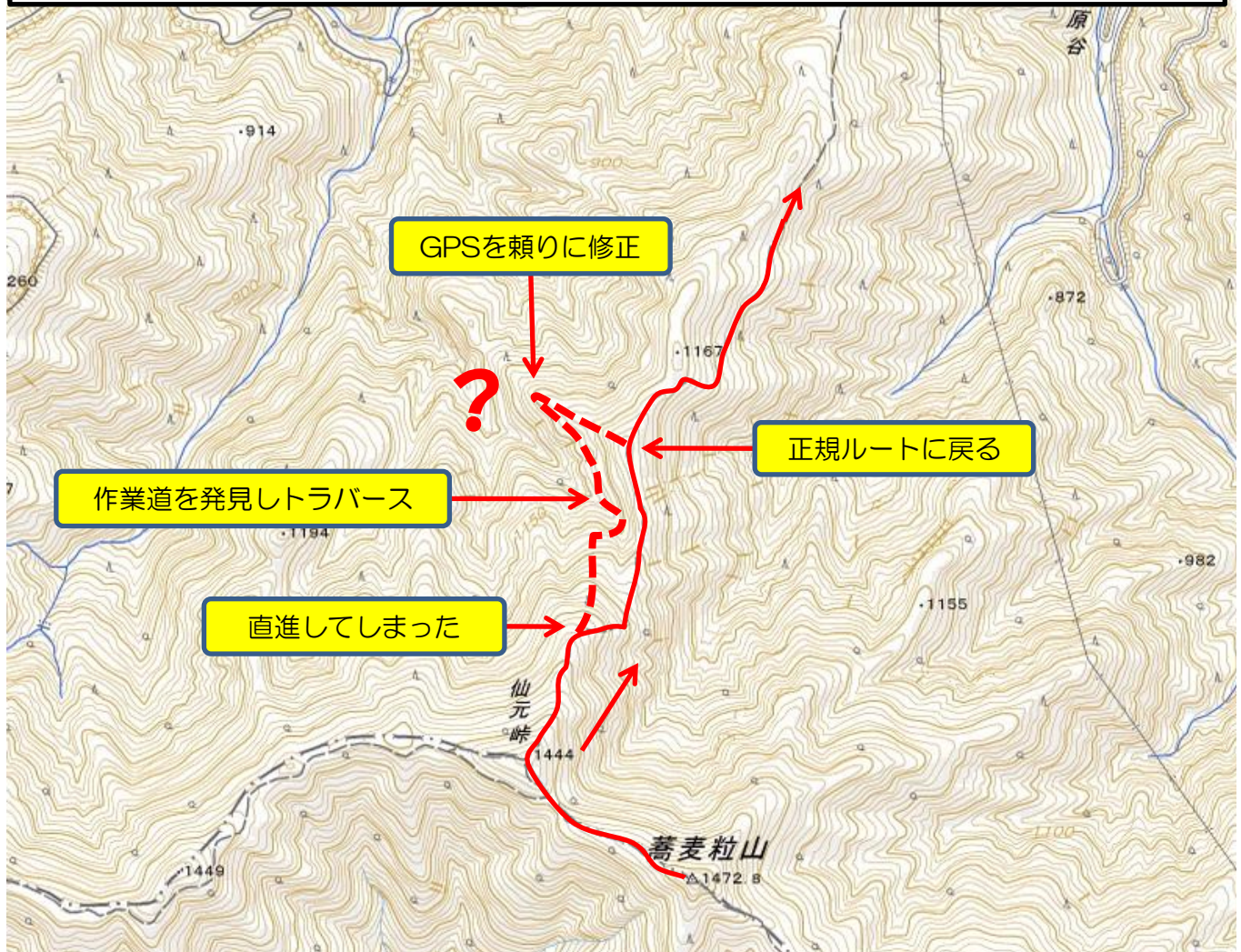


蕎麦粒山道迷い(2019年10月)

ルートミスに気づきながら、そのまま安易に進む。他人のレコで道が不明瞭という情報も先入観としてあり、ひどい斜面でも強引に降り続けた。その後GPSを見ながら登山道に復帰し事なきを得た。



解説

「仙元峠からの下りの途中でルートミスに気づきながら、そのまま安易に進んでしまいました。当然自分の判断ミスですが、遠因は他の人のレコで道が不明瞭という情報を得ていたことも心理的に影響しているかもしれません。多分こんな道なんだろうって先入観があって、ひどい斜面だ、と思いながらも強引に降り続けてしまい途中で引き返すことができなくなりました。その後GPSみながら登山道に復帰するしかなく、リスクの高いトラバースや尾根の急斜面を登りました。」(HP参照)

道迷いは、「ルートミスに気づきながらも、そのまま安易に進んでしまう」なぜか？と言われても「これが道迷いの心理」だから…。としか言いようがない。

地図アプリを持っていても「あれっ？おかしい」と思った時には見ない。「見てよ！」と思うのが見ない。「初期の道迷いの心理」は不思議が一杯ある。この不思議な行動が重なり、さらに大きな事故を起こしてしまう。

くどいようだが、「あれっ？おかしい」と思った初期の行動。これがすべての分岐点である。